



「手探りの中、活動を続けてきたが、パチンコ問題を沖縄から全国に発信していきたい」と話すRSN代表の西村直之さん=西原町上原のリカバリーサポート・ネットワーク

RSNは、2006年に全日本遊技事業協同組合連合会の支援を受け、日本初のパチンコ・スロット依存問題の電話相談機関として設立された。全国約1万2千件のパチンコ店にボスターを張り、度を越したパチ

「やめる方法知りたい」

RSNは、「NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク」(RSN)がこのほど、開設以来5年間の相談内容をまとめ、相談件数は5512件に上り、都道府県別では沖縄が1位だった。精神科医でRSN代表の西村直之さん(45)は「県外は本人からの相談が多いが、沖縄は本人だけでなく家族からの相談比率が高く、数が増える。拠点も沖縄にあることが影響しているのではないか」と分析している。

RSNまとめ 5年で5512件 沖縄331件、全国トップ

パチンコ依存問題 年度別相談件数

| 都道府県別相談件数 上位10位(2006年度-10年度) | | |
|---------------------------------|------|---------|
| 2006年度 | 989 | 1位 沖縄 |
| 2007 | 846 | 2位 神奈川 |
| 2008 | 1187 | 3位 京都府 |
| 2009 | 1305 | 4位 大阪府 |
| 2010 | 1185 | 5位 兵庫県 |
| 総計 | 5512 | 6位 福岡県 |
| | | 7位 静岡県 |
| | | 8位 北海道 |
| | | 9位 岐阜県 |
| | | 10位 沖縄県 |

「手探りの中、活動を続けてきたが、パチンコ問題を沖縄から全国に発信していきたい」と話すRSN代表の西村直之さん=西原町上原のリカバリーサポート・ネットワーク

ンコについての相談を呼び掛けている。3人の相談員が相談に応じている。

開設以来5年間の都道府県別相談件数は、沖縄が31件で1位。次いで神奈川328件、東京319件と沖縄以外は都市部からの相談件数が多い。

相談が多い。相談者数は4437人で問題がある本人からの相談は2813件(約63%)。家族・友人は約1578件(約36%)だ。

西村さんはアルコ

ルや薬物依存症の場合、本

人に依存症であることを認めさせることから治療が始まることを挙げ、「他の依

存症とパチンコ問題は根本

的に違う」と説明する。

相談内容では、「やめ

(させ)る方法が知りた

い」が5年間で3189件

と最も多かった。

(初回相談のみ)

ト・ネットワーク代表の西

村直之さんが「ギャンブ

リング問題とその支援」と題

し講演する。ギャンブル問

題の支援に携わっている

人、携わりたい人が対象。

問題がある本人や家族は対

象外。参加費無料。問い合わせは同ネットワーク

(3541)6420。

ひと・暮らし
すこやか

生活

文化部生活班
TEL.098(865)5162
FAX.098(865)5196
メール.seikatu@ryukyushimpco.jp

受ける子どもが多い」と子どもへの影響を懸念する。RSNでは幅広い支援につなげようと、9月に「ギャンブル問題の支援に携わる人たちの勉強会 in 沖縄」を発足させる。西村さんは「まだまだ手探りだが、医療や教育、福祉、金融などさまざまな分野の人たちと

一緒に考え、知恵を蓄積していくたい」と語った。

◆ ◆ ◆

電話相談は月曜から金曜(土日祝日除く)の午前10時~午後4時。相談者は匿名可。相談は無料だが通話料は相談者負担。(098)3541-6420。(豊浜由紀子)

支援者向け勉強会
発足記念で講演会
27日、沖縄市
「ギャンブルの問題の支援に携わる人たちの勉強会 in 沖縄」発足記念講演会

ト・ネットワーク代表の西村直之さんが「ギャンブル問題とその支援」と題し講演する。ギャンブル問題の支援に携わっている人、携わりたい人が対象。問題がある本人や家族は対象外。参加費無料。問い合わせは同ネットワーク(098)3541-6420。